

— マニフェストレポート —

# 工藤政宏新聞 2026年新春号

NEWSPAPER ABOUT MASAHIRO KUDOH

## 今を変え、未来を拓く。

TOPICS

- 市民生活、環境、財政を守る！ ■ 本気で取り組む重点政策
- 「子育てが楽しいまち」「ご高齢者が安心してらせるまち」をめざします!!
- 写真でみる活動報告 ■ 疑問・質問にお答えします

### TOPIC 1 市民生活、環境、財政を守る！

#### 全市民1人1万円分の商品券配布を決定!

昨年12月25日、行橋市は国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、『**行橋市民生活応援商品券事業**』の実施を決定。おこめ券や現金給付の選択肢もありましたが、米作農家やお米の購入に困っていないという方々からは「お米以外にも使えるものが良い」という声があり、用途を限定するお米券を選択肢から除外しました。また、現金は貯金することができ、市内での消費喚起を考えた際に効果が薄い点などを考慮した結果、期間限定の**全市民1人1万円分の商品券**にすることとしました。これにより地域経済の活性化(中小店舗での消費促進)、家計の下支えに繋がります。



- 商品券の配布時期** 令和8年2月中旬～3月中旬(予定)
  - 商品券の使用期間** 令和8年3月下旬から6月下旬(予定)
  - 商品券が使える店舗** 市内の登録店(調整中)
- ※いずれも2026年1月1日時点(担当:行橋市役所 総合政策課)

#### ゴミ袋半額いつまで? R8年8月以降も継続の意思を表明!

令和6年3月議会で、ゴミの減量とゴミ袋の減額を同時推進するプロジェクト「**その1gを削り出せ!**」を発表した工藤市政。当初は一部議員から議案の取り下げなどを求められましたが、工藤は譲らず、このプロジェクトの必要性を訴えました。市長執行部案は、2年間ゴミ袋15%OFFから始め、市民の皆様との協働でゴミ減量化が進めば、ゴミ袋を安くしていくというもの。15%というスモールスタートの理由は、いきなり半額にするとゴミ袋の買い占めが増えたり、ゴミ増加の懸念があるためでした。



#### 市民の力で進むゴミ減量化。ゴミ袋半額は令和8年8月以降も継続の意向を表明。

しかし、当時の議会は、最終的に「1年間(令和7年7月31日まで)ゴミ袋半額」に議案を修正。工藤はこれを受け入れましたが、検証のためには最低2年間が必要であると考え、その後の議会で半額期間を**令和8年7月31日まで延長**する旨を議会に提案。議会もこれに同意しました。

さらに、市民の皆様のご協力によりゴミの減量化が確実に進展(基準となる令和5年度と比較して約5%減)していることを踏まえ、工藤は、昨年12月に**令和8年8月1日以降も半額を継続する意向を発表**しました。これからは、単に安くする・無料にするという安直な発想ではなく、**ゴミを減らし、環境負荷を軽減し、次世代にツケを残さないよう、市民の皆様と「協創」(=ともに創る・解決する)によるまちづくりを展開**していきます。



R7年9月、油の回収を市内3カ所でスタート。さらなる展開を予定。



ゴミ減量化に向けた小学校への出前授業も実施中。

#### 行橋市はしっかり「健全財政」です!

財政的に「裕福」とは言えないものの、大型事業の見直しや無駄の削減、選択と集中による投資を進める中で、財政は健全であると言えます。特に、地方債(借金)は過去3年間で約20億円減らし、基金(貯金)は17億円増やしてきました。



地方債(借金)は、3年連続で減少(208億円→188億円)  
基金(貯金)は、3年連続で増加(162億円→179億円)

# TOPIC 2 想いをカタチへ。 本気で取り組む重点政策

## 生活を守る・仕事を創る

- 「稼ぐ! 農・水産業」 獣害対策、担い手育成等 **TOPIC3参照**
- 「新公共交通」 AIデマンド、乗合いタクシー等の検討
- 「買い物・交流」 ドライブサロン、移動販売の拡充
- 「仕事創出」 企業支援、創業支援、企業誘致、産業団地整備計画の推進等 **TOPIC1参照**
- 「社会基盤整備」 老朽化施設・上下水道等の整備
- 「老後の安心」 お墓の管理・承継の調査・対策
- 「減税」 固定資産税率1.5% → 1.4% (継続協議)
- 「未来創造」 東九州新幹線『行橋駅』誘致



ゴミ袋半額 続きます!

## 市役所を動かす

- 「組織改編」 行政×民間連携、DX推進、オンライン勤務環境の整備等
- 「サービス向上」 書かない窓口、行かなくて済む手続き
- 「財源創出」 ムダの削減、企業版ふるさと納税等
- 「採用・入札」 公平性・公正性の堅持

## 環境を守る・地域を再生する

- 「環境」 海・山・まちなみの景観や生物多様性の保全 **TOPIC3参照**
- 「ゴミ」 ゼロ・ウェイスト(ゴミゼロ)の推進(ゴミの分別、リサイクル、堆肥化等)
- 「地域コミュニティ」 お祭り・公園管理・ゴミの資源化等をきっかけにした住民主体のつながり再構築、住民自治の推進
- 「行橋駅東口」 エリアマネジメントによる中心市街地の活性化



## 命を守る

- 「防災」 防災DX・VR活用、避難所運営訓練の展開、避難訓練・防災講座の充実、備蓄品管理のデジタル化
- 「認知症予防」 国立長寿医療研究センターとの認知症予防プログラム実証研究 (R8年度実施決定)
- 「インクルーシブ」 障がい児・者がより安心して生活できる地域社会づくり  
(医療的ケア児の支援、障がいのある方々のアート作品や手作り商品のPR、ユニバーサルマナー・ユニバーサルデザイン、インクルーシブ公園の整備、パラスポーツ交流、農副連携等)



## 人を育む・人生を豊かにする

- 「給食」 学校給食の質の維持と完全無償化(有機食材の活用など健康面や栄養面への配慮、市内のプロの料理人と連携したメニューの開発)
- 「居場所」 こども食堂や居場所カフェ支援、不登校対応、多世代の意見を活かした公園のリノベ(再整備)
- 「生涯活躍」 アクティブシニア(元気な高齢者)の地域デビュー応援、シニア起業家育成支援制度設置等
- 「熱中!」 芸術・文化、武道・スポーツの更なる振興
- 「世界へ発信」 行橋の魅力をシティプロモーションで世界中に! 穏やかな海を活かしたSUP体験の聖地へ、映像撮影の聖地へ
- 「若者参画」 若者政策会議の実施等
- 「世代間交流」 室内型子どもの遊び場の活用や文化・スポーツ活動を通じた多世代交流の創出等
- 「家族」 たびスタ休暇の導入
- 「歴史・文化」 郷土の偉人(佛山、謙澄等)の学習、祭り・伝統芸能の継承等



### めざす方向性

- ◆ ウェルビーイング(幸福感)の向上
- ◆ シビックプライド(まちを担う自負心)の醸成
- ◆ 行橋の持続的な成長・発展
- ◆ 誰もが安心して生き活きと暮らせるまち
- ◆ チャレンジを応援するまち
- ◆ 人財を輩出するまち

色々実現しています!

### 【主な実績17】

- 1 就任3年半で約1,100人の社会増(転入超過)
- 2 子ども医療費18歳まで助成拡大
- 3 ゴミ袋減額・半額継続とゴミの減量化(約5%)
- 4 給食費全額免除 (R5年9月~7ヵ月間) 1年間半額(R7年度実施中)⇒無償化推進
- 5 水道事業広域連携 (水不足・渇水対策の推進)
- 6 全小中学校体育館エアコン設置決定
- 7 防災力向上 (防災井戸、ペット避難所設置等)
- 8 健全財政(借金約20億減、貯金約17億増)
- 9 広報強化 (市報デザイン一新、Instagram・TikTok等)
- 10 スポーツ大会参加選手激励金、文化・芸術活動支援
- 11 産前産後サポート (R7年度新規6事業開始)
- 12 アピアランスケア (医療用ウィッグや補整具の購入補助)
- 13 室内型子どもの遊び場「あそぼっちゃん」(3月完成予定)
- 14 アントレプレナーシップ(起業家精神)教育やお金の教育等の実施
- 15 職員採用試験改革
- 16 市制70周年記念事業
- 17 パブリックカジュアル (職員の服装の自由化の導入)





# TOPIC 4 写真で観る活動報告



子ども達を対象に夏休み金融教育を実施



小学生と人権の花運動



秋野公造参議院議員と



松山政司参議院議員と



下野六太参議院議員、  
内田直志みやこ町長と



福岡県市長会副会長として  
高島福岡市長と



市長まちかど報告会 打ち合わせの1コマ



国交省へ要望活動



勤労感謝の日に園児たちと

# TOPIC 5 疑問・質問にお答えします



4年間を振り返った感想は？

就任直後から約2年間は、コロナや物価高騰対策に追われ、重要議案も否決が続きましたが、18歳までの医療費助成拡大、大型公共工事やイベントの見直し、給食費全額免除(R5年9月から7ヵ月間)など地道に取り組んできました。後半は、市民参画型の行事が好評を得た市制70周年記念事業、全小中学校体育館エアコン設置計画など様々な取り組みを進めてきました。また、健全財政を維持し(貯金約17億円増、借金20億円減)、過去3年半で約1,100人の社会増を実現しました。多く皆様のご理解ご協力、職員の頑張りに感謝しています。

職員のみなさんにはどのように接してきましたか？

職員にはいつも敬意を払い、個々の能力を信じ、活かすように努めてきました。市報のデザイン一新やSNSの活用、ゴミ減量の推進、水道事業の広域連携などが進んだのは職員の頑張りのおかげです。また、市長就任以降、パワハラ・カスハラ対策、服装の自由化など、職場環境の改善にも努めてきました。今後も職員一人ひとりを大切に、職員やご家族も含めた市民の皆様のウェルビーイング(幸せ)の向上をめざしていきます。

工藤さんが講演などで時々話す「あか抜けたまち」って何ですか？

“頑張る人の足を引っ張ることなく、応援する、ともに汗を流すといった文化が根付いたまち”のことです。行橋は今、成長・発展過程にあります。未来を担う子どもたちのために、さらに“あか抜けたまち”をめざしたいですね。

最後に、奥さんから工藤さんについて一言お願いします。

まだ2人とも若い頃、初めて会った日に、「行橋のために働きたい」と夢を語ってくれました。あれから23年経ちましたが、あの頃と同じ、むしろあの頃以上に強い信念をもって日々働いているように思います。夫の志の高さ、愛情深さ、言葉だけでなく想いを行動にかえていく誠実さは、1番近くにいる家族として誇りです。

## 工藤まさひろ PROFILE

1977年9月生 (3歳から剣道を始める)  
行橋カトリック幼稚園 卒園  
行橋市立泉小・泉中学校 卒業  
私立常磐高等学校 卒業  
日本大学法学部政治経済学科 卒業  
学習塾 花まる学習会勤務  
愛知県犬山市長 インターン  
茨城県議会議員秘書(5年5ヵ月)  
2012年行橋市議選 初当選(3期約10年)  
(一社)美夜古青年会議所 2017年度理事長  
行橋市立泉小学校 PTA会長  
2022年行橋市長選挙 初当選(現在1期目)  
福岡県市長会 副会長 等

### 【座右の銘】

「理不尽に屈せず大志に生きる」「一人ひとりの力は微力だが無力ではない」「命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人は、始末に困るものなり」

### 【尊敬する人物】

末松謙澄、渋沢栄一、白洲次郎、ネルソン・マンデラ、平尾誠二、中村哲、イチロー、大谷翔平 等

今ここに立っているのは、市民の皆さまの笑顔と家族の愛情があったから。



幼少期に祖父母と。祖父政美は高校教員(センブリ)。



父母と。母はガンを患い51歳で死去。まっすぐな人でした。



14年間、節目節目に道に立ち続けました。



「こずもっぺ」新人議員の皆さんと



日産自動車九州 芦澤社長と

48歳



これまでの政治か、これからの政治か。

# 工藤まさひろ 後援会事務所

電話0930-22-2014 FAX050-3737-1243

〒824-0033 福岡県行橋市北泉3-7-13 E-mail kudoh.masahiro@gmail.com



YouTube 工藤まさひろ とんりの市長